

地盤・基礎:A

地盤・基礎の評価 1.00

基礎の種類

無筋コンクリート基礎

地盤の種類

普通が良い方である

評価と改善ポイント

地盤・基礎ともに一応安全です。

老朽度:F

老朽度の評価 1.00

健全である

評価と改善ポイント

安全です。

地震動:G

地震動の評価 1.00

都道府県 千葉

地域係数 1

地震の割り増し 1

建物の形・壁の配置:B×C

	X座標	Y座標
1階重心	2.80 m	6.33 m
1階剛心	3.58 m	4.97 m
1階偏心距離	0.78 m	1.36 m
	X方向	Y方向
1階弾力半径	3.55 m	5.69 m
1階偏心率	0.38	0.14
建物の形 壁の配置の評価	0.61	1.00

筋かい・壁の割合:D×E

床面積2階	35.61 m ²	屋根の種類	軽い方である
床面積1階	52.58 m ²		
1階の所有効壁量		12.19 m	
1階の存在壁量		X方向	Y方向
		15.32 m	7.19 m
筋かい・壁の割合		1.26	0.59

X方向の評価

$$A \quad B \times C \quad D \times E \quad F \quad G \quad \text{総合判定}$$

$$1.00 \times 0.61 \times 1.26 \times 1.00 \times 1.00 = 0.77$$

総合判定結果 やや危険です。

壁の量とバランスに関する評価と改善ポイント

有効な壁の量は満足していますが、配置が偏っています。地震で揺られる側に壁を増やす方が安心です。

Y方向の評価

$$A \quad B \times C \quad D \times E \quad F \quad G \quad \text{総合判定}$$

$$1.00 \times 1.00 \times 0.59 \times 1.00 \times 1.00 = 0.59$$

総合判定結果 倒壊または大破壊の危険があります

壁の量とバランスに関する評価と改善ポイント

有効な壁の量がかなり不足ですが、配置は適切です。全体に相当多くの壁を増やし、平面的に偏らないように配置して下さい。

閉じる

この画面を印刷

補強計画のアドバイスを表示